

❀ 平成23年 年頭のご挨拶 ❀



松井大悟

一般社団法人 日本非開削技術協会 会長

新年明けましておめでとうございます。

平成元年に設立されました日本非開削技術協会（JSTT）の理念は、「ガス、下水道、水道、通信、電力などの地下パイプラインの調査、検査、建設、維持管理、及び地下探査等に関する非開削技術の交流により、我が国の地下利用技術の進歩、および安全性の向上を図り、広く公共の福祉の増進に寄与する」ことです。さらに海外との技術交流を図り、非開削技術が世界中に普及することに貢献していくことも理念の一つです。この非開削技術の利点を広く世の中に受け入れていただくようJSTTは22年におよぶ活動を続けてまいりました。これにより非開削技術の評価も高まり、平成21年より一般社団法人として新たな出発をし、3年目を迎えました。今後は非開削技術普及などの公益事業を一層充実させ、公益法人への道を目指し努力をいたしたいと思っております。

昨年の第21回非開削技術研究発表会では25件の応募があり、これを7部門に分けて発表して頂きました。この発表会では日本の非開削技術の海外展開、管内検査・調査技術、管更生、特殊推進、地下探査技術等、非常に高度でかつ多くの分野をカバーする貴重な論文集を制作することが出来ました。さらに毎年、非開削技術の社会的費用の発表があります。地味ではありますが、我が協会にとりまして重要な課題でありますので、会員の皆様の発表を歓迎しております。

昨年11月に、JSTTのホームページを刷新しました。会員からの従来の要望により、より利用しやすい

ようにしたつもりです。一度アクセスしてください。今回の刷新の一つの目的は、データベースとしての利用です。JSTTの過去の機関誌（平成14年より）、研究発表会（第15回より）の論文をすべて電子情報でご覧になれます。さらに検索機能も取り入れまして、用語を検索することにより必要な論文等を見つけることができます。従来、海外の人からもホームページの英文化が、要望されてきました。今回ようやく論文集と機関誌のタイトル、著者名、アブストラクトを英文の電子情報で掲載し同様に、英文のテクニカルタームで検索もできます。今後はさらに設立以来の全論文を掲載し、英文化も図り、会員の皆様の活動に寄与したいと思っております。

国際活動につきましては、昨年11月にシンガポールで開催された2010年No-Dig国際会議に調査団を派遣しました。日本からは論文8編が発表されました。この会議においてアジアから中国、シンガポール、トルコが新たに加わり、従来の日本、香港、台湾、オーストラリアと合わせて7カ国となりました。非開削技術の新たな展開がアジアにおいて始まろうとしている、その息吹を感じた次第です。一方日本の状況は、公共投資抑制の影響の結果、企業が新技術に対する投資に慎重になり、世界をリードしてきた日本の技術力が低下する懸念が生じています。これを取り戻すには、新たな市場が必要です。私は日本のこれからの非開削の市場はアジアにあり、そしてアジアの人々に寄与できる非開削の新技術が求められていると思います。